

ごみ分別のルールは きちんと守りましょう

家庭ごみの収集業務を行っているとき、ごみ分別のルールが守られていないごみや、菊池環境保全組合で処分できないごみ(適正処理困難物と言います)が混入しているのが多数みられます。有害性・危険性・引火性のあるごみや、専門的な処理を必要とするごみが該当します。これらのごみは、町のごみ収集に出したり、環境美化センターに搬入したりすることはできません。

適正処理困難物の例
・殺虫剤、農薬、化学薬品
・バッテリー
・ガスボンベ
・消火器
・廃油、オイル、塗料
・感染性医療廃棄物
・タイヤ
・自動車関係部品
・農業機械
・石こうボード
・コンクリートブロック
・中身の入ったビン・缶類
・パソコン

適正処理困難物の問題点

適正処理困難物はごみを集める段階で確認を行うのですが、確認できなかったものが環境美化センターに多量に集まっています。適正処理困難物は専門

的な処理が必要でその場での処分ができません。



また、バッテリーや薬品のビンから液体が漏れたり、ボンベに残ったガスが爆発したり、注射針が刺さったりと、作業する人への危険性も問題となっています。

家庭から出た場合の処分方法

これらのごみが家庭から出た場合は、その物を取り扱っている販売店や、製造業者などに引き取ってもらうか、民間のごみ処理業者に処分をお願いしてください。

また、適正処理困難物の中で一番多いものは中身が入ったままのビン・缶類です。皆さんの家庭で中身を取り除き、軽く洗い流して資源物の日に出してください。

適正処理困難物は、本来ならばごみを出した当事者が自ら処分するべきものです。これまで上表の物を出していた人は、これからは絶対に出さないください！
自分が出すごみは、責任を持って正しい方法で処分しましょう！



大津町の老人クラブと活動をご紹介します

〜グラウンドゴルフ大会、老人クラブと老人クラブ連合会〜

9月26日、大津町老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が町運動公園の多目的広場で開催され、老人クラブの皆さん330人が参加しました。開会式では大津町老人クラブ連合会の日吉会長が「この大会の一番の目的は交流です。『あたも来とったなあ!』と言葉を掛け合って活気あふれる大会としましょう」と挨拶。家入町長は「クラブの活動で、100歳を目指し元気な気持ちと体を養って下さい。皆さんのおかげで大津町も元気で」と挨拶しました。日吉会長、家入町長、大田黒議長が始球式を行い、競技開始となりました。

ブロック優勝は大津老人会の山口義文さん、大津東区光寿会の田中竹子さん、後迫老人会の吉本愛子さんと、上位60人の皆さんが10月24日同公園で行われた大津町、合志市、菊陽町の大会に出場しました。

老人クラブは大津町各地にあり、グラウンドゴルフをはじめ各種スポーツ活動、地域貢献活動(高齢者世帯訪問、地域の清掃、通学時の見守りなど)を

それぞれ独自に行っています。今年の大津町の老人クラブは31クラブ、1,017人で、昨年と比べて減少しています(昨年は34クラブ、1,104人)。各老人クラブが集まって組織している大津町老人クラブ連合会にはグラウンドゴルフ部会、ゲートボール部会、シルバーヘルパー部会、女性部長会、会長会があり、各大会や福祉大会、学習会や研修会などを行っています。昨年のねんりんピック熊本大会では、サッカー会場のお世話に協力しました。

老人クラブ結成の歴史は古く、昔から高齢者の皆さんの交流と楽しみ場のようになっていました。大津町で最初の連合会は昭和41年に結成されています。残念なことに、近年は新たに会員になる人が減少し、会員の高齢化が進んでいます。日吉会長も「地域を支えるのは皆一丸となって進めなければ。定年を迎えてすぐは元気だが、10年も経てば体も変わる。そのときに仲間が必要。つながりを持ってクラブで楽しく活動しましょう」と語りました。



開会式で挨拶をする日吉会長

←↑老人クラブの皆さんは、元気にグラウンドゴルフを楽しんでいました

**活動に参加してみたい人は
こちらまで**

大津町老人クラブ連合会
事務局 (担当: 岩下)
☎ 096 (293) 6054



●問い合わせ 役場保険医療課 介護保険係 ☎ 096 (293) 3114